

4. 会誌及び著書の出版

4-1 広報委員会

本委員会は、当協会の目的達成に必要な各種の情報及び事業活動に関する情報を関係者に会誌およびホームページで広報することを目的として、継続設置されている事業実施機関である。なお、同委員会内に米国における教育への情報技術活用事例について翻訳紹介するため、12年度まで「翻訳資料分科会」設置していたが、13年度よりこれを廃止し、広報委員会の内で担当者を決めて対応することとした。

(1) 会誌「大学教育と情報」の発行

本年度は、「Vol.10 No.1号」から「Vol.10 No.4号」を発行した。発行部数は、14年3月末日現在、全国の私立大学・短期大学・当協会賛助会員、関係省庁及び関係団体・関係機関を中心に16,500部となっている。

編集は、読者に魅力ある会誌となるよう、次の点を基調として発刊している。

- ①情報技術を活用した教育や支援環境に関するテーマを「特集」として取り上げ、とりわけ、発行時期を考慮しながら話題性の高いテーマを設定している
- ②できるだけ多種・多様に加盟校を紹介するため、大学の規模・種別、情報環境の類似性を考慮して「情報教育と環境」として掲載する。
- ③海外における情報技術を利活用した教育や環境の話題について、最新情報を翻訳し、紹介する。
- ④学系別の教育における情報技術の活用事例を紹介する。今まで掲載した学系別の分野であっても、視点を変えて再度取り上げる。
- ⑤教員の授業でのIT活用の苦労話しを紹介するため「授業改善奮闘記」を創設した。
- ⑥本文ページ配色とレイアウトを段階的に充実させる。

なお、広報活動をホームページで補完するため、私情協ジャーナルをはじめ各種刊行物・資料のデジタル化（HTML化、PDF化）を進めている。また、補助金などのニュース性の高い情報については、FAXで送信するとともにホームページに掲載し、関係者への情報伝達の徹底化に努めている。

(2) ホームページの見直し

ホームページの特性を活かして広報活動を行うため、ホームページの内容について見直し、リニューアルに向けてメニューなどを検討した。その結果、ホームページの閲覧対象者（大学の教職員）にとって、有益な情報がすぐに見ることができるように、メニューやリンクを工夫することとした。また、ホームページの速報性を活かして、補助金情報やイベント情報など、最新の情報を掲載していくこととした。

(3) 会誌「大学教育と情報」Vol. 10 No. 1～No4の掲載内容

【大学教育と情報 Vol.10 No.1】

- ・巻頭言 「小さい企業組織の方がいい」 佐野 陽子
- ・特集 「教育の情報化への支援体制と課題」
中央学院大学／日本福祉大学／武庫川女子大学／東京工科大学
園田学園女子大学／産能大学／国際基督教大学／大阪電気通信大学／
金沢工業大学／関西学院大学／青山学院大学／法政大学
- ・化学の教育における情報技術の活用
「実験における情報技術の実践活用」 堀合 公威
「Web対応のCAIを用いた授業実践」 及川 義道
「基礎科目『化学II及び演習』（有機化学）におけるホームページの活用」
田村早苗、小中原猛雄
「ノートレス講義の試み」 竹内 敬人
- ・情報教育と環境
国立音楽大学／名古屋音楽大学
- ・海外ニュース
「-CALLを利用した語学教育の動向-TESOL2001学会に参加して」 小林ひろみ、生田 祐子
- ・投稿 「Microsoft Word」によるレポート・論文作成の指導」 栗原 裕
- ・ニュース
「コンピュータで展開されるマルチメディア利用建築教育の追加アンケート」集計報告
- ・私情協ニュース
- ・賛助会員だより

【大学教育と情報 Vol.10 No.2】

- ・巻頭言 「先のが後になる」 絹川 正吉
- ・特集 教育の情報化への支援体制と課題（2）
広島修道大学／中部大学／名古屋学院大学／立教大学
流通経済大学／大阪学院大学

- ・経営工学の教育における情報技術の活用
 - 「マルチメディアを活用した生産管理演習授業」 渡辺 一衛
 - 「生産システムの実態を理解するためのマルチメディア教材」 細野 泰彦
 - 「マルチメディアによる人間工学入門」 富澤 儀一

- ・情報教育と環境
学習院大学／甲南大学

- ・海外ニュース
 - 「シェフィールドハラム大学のアドセットセクターを見学して」 眞鍋信太郎
 - 「MITOCWプロジェクトについて」 角田 和巳

- ・文部科学省ニュース

- ・私情協ニュース

- ・翻訳

Faculty Engagement and Support in the New Learning Environment

【大学教育と情報 Vol.10 No.3】

- ・巻頭言「福祉系大学での情報教育とサイバキャンパス構想」 篠置 昭男

- ・特集 授業改善奮闘記

- 「メールマガジンで講義を補完」 笹山 茂
- 「アトラクティブな授業を目指して」 福本 紘
- 「情報教育奮闘記」 青山 広
- 「授業のビジュアル化に向けて」 志村 正
- 「パソコン活用奮闘記」 小野坂敏見
- 「英文法指導へのコンピュータ活用を考える」 相川 由美

- ・被服学の教育における情報技術の活用

- 「マルチメディアを活用したパターニング実習」 伊佐治せつ子、小倉文子、高橋良子
- 「マルチメディアによるパターン設計」 猪又美栄子、高部啓子、芦澤昌子
- 「汎用ソフトとオリジナルソフトを活用した「テキストデザイン」授業」 鈴木美和子、青木美智子
- 「ファッションデザインにおけるコンピュータの活用」 橘 喬子

- ・情報教育と環境

大同工業大学／金沢工業大学

- ・投稿

- 「メディアを活用した障害学生への学習支援：英国オープンユニバーシティに学ぶ」 広瀬 洋子

- ・私情協ニュース

- ・翻訳 Technology-Enhanced Teaching and Learning

-Leading and Support the Transforming on your Campus-

【大学教育と情報 Vol. 10 No. 4】

- ・巻頭言「ロゴス時代から情報時代へ」 山本 敏明
- ・特集 e-Learning いつでもどこでも学べる環境づくり
「講義の状況、テキスト・資料、板書を同一画面に組み込んだ個人ユースの学習環境」 日本女子大学
「玉川大学・玉川学園女子短期大学におけるe-Learning～協調分散型e-Learningシステムの実践～」 玉川大学
「インターネットを活用した新しい通信教育～iNetCampus～」 産能大学
「インターネットを活用した新たな大学通信教育の開設～『IT高等教育時代』への先駆けとして～」 日本福祉大学
- ・語学教育における情報技術の活用
「CALLを利用したフランス語学習用リソースの構築～上智大学外国語学部フランス語学科における試み～」 田中 幸子
「ドイツ語教育及び研究におけるLaTeX活用の試み」 永田 善久
「コンピュータによる中国語学習支援」 村上 公一
- ・情報教育と環境
高千穂大学／広島経済大学
- ・授業改善奮闘記 -情報によるファカルティ・ディベロップメント-
「IT革命奮闘記」 兼清 弘之
「なぜ一生懸命に情報化をするのか？～事前事後学習の徹底を目指して～」 中條安芸子
- ・文部科学省ニュース
- ・私情協ニュース
- ・翻訳 The Internet and the University 2000 Forum

(4) 会誌「大学教育と情報」の私情協ホームページへの掲載

私立大学・短期大学の関係者にこれまでよりもさらに広域的に伝達するため、会誌の情報を私情協のホームページに継続して掲載した。また、「情報教育と環境」、「大学教育環境探訪」のページは、英文でのアブストラクトや説明文を加えている。

4-2 出版物の刊行

平成13年度は、情報教育研究委員会から「-大学教育への提言-授業改善のためのITの活用」を11月の総会で発表し、会員校に配布した他、一般に実費頒布した。また、「論文誌情報教育方法研究」は4,700部自費出版し、11月の総会で紹介するとともに、会員校に配布した。